

立命館大学BKCインキュベータの概要

立命館大学連携型起業家育成施設（名称：立命館大学BKCインキュベータ）は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が滋賀県および草津市から要請を受け、平成16年10月に、立命館大学びわこ・くさつキャンパス内に開設した大学連携型起業家育成施設（インキュベータ）です。

立命館大学をはじめとした大学発の技術シーズの産業化を支援する施設であり、起業を目指す大学研究者、大学との連携を目指すベンチャー企業、第二創業を目指す中小企業などを支援しています。

◆特徴◆

当施設には、中小機構近畿本部及び立命館大学、草津市から派遣された事業化支援スタッフ「インキュベーション・マネージャー」が常駐しています。

また、中小機構近畿本部の専門家集団による経営・法律・技術・国際展開など各分野の相談・指導や、立命館大学BKCリサーチオフィスをはじめ、滋賀県、草津市、大津市、経済産業省および各支援施設等との連携により、新たな分野にチャレンジする企業や起業家の支援と育成をサポートします。

さらに、中小機構のインキュベーション施設で唯一インターンシップ制度があり、学生の若い発想を事業に活かすこともできます。

立命館大学 BKC インキュベータ 施設概要	
敷地面積	2, 602㎡
延床面積	2, 165㎡
施設構造	鉄骨造 地上3階建て
賃貸スペース	全30室 <small>小規模試作開発可能オフィスタイプ（全23室、29～65㎡）</small> <small>試作開発室タイプ（全3室、各100㎡）</small> <small>実験室・研究室タイプ（全4室、45～65㎡）</small>